SATURN NEWS
令和７年４月
2025-28

「M2BPGi（Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体）」検査内容変更のお知らせ

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。
この度、標記項目の検査内容を変更させていただきますので、ご案内いたします。
誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目/変更内容

変更内容	新	現	検査案内掲載頁
検査項目名	M2BPGi定量	M2BPGi	P.69
項目コード	5210	3625	
検体量	血清　0.5 mL	同左	
容器	【01】汎用容器（分離剤入り）	同左	
保存方法	冷蔵	同左	
所要日数	3～5日	同左	
検査方法	CLEIA	同左	
基準値（単位）	0.84 未満（AU/mL）	（－） 1.00 未満（C.O.I）	
報告範囲（単位）	0.10未満、0.10～59.9、60.0以上（AU/mL）	0.10未満、010～20.00、20.01以上（C.O.I）	
桁数	有効3桁、整数2桁、小数2桁	有効4桁、整数2桁、小数2桁	
検査実施料	194点 （「D007」血液化学検査「50」）	同左	
判断料	144点 （生化学的検査（Ⅰ）判断料）	同左	
備考欄	（削除）	陰性（－）　1.00未満 陽性（1＋）1.00～3.00未満 陽性（2＋）3.00以上	

変更期日

● **令和 7 年 5 月 30 日（金）受付日分より**

札幌臨床検査センター株式会社
SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC.

●M2BPGi（Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体）定量

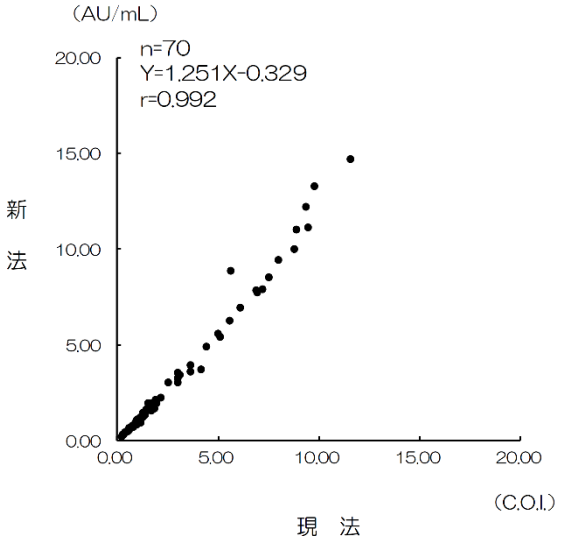
カットオフインッデックス（C.O.I）から定量値での評価が可能となりました。

M2BPGi（Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体：Mac-2-binding protein glycosylation isomer）は、肝生検との一致率が高く、肝線維化のステージを反映することから肝線維化マーカーとして知られています。

従来法によるカットオフインッデックス（C.O.I）から定量値となることで、肝線維化の進行をより詳細に評価することが可能となり、慢性肝炎や肝硬変の早期発見から治療方針の選択・モニタリング時の検査としてさらなる活用が期待されています。

エスアールエル検討データ

●相関



●参考文献

Uojima H, et al：J Gastroenterol 58（12）：1252～1260, 2023.

（検査方法参考文献・臨床的意義参考文献）